

第 1 2 章 苦情处理

1. 苦情件数の種類別推移

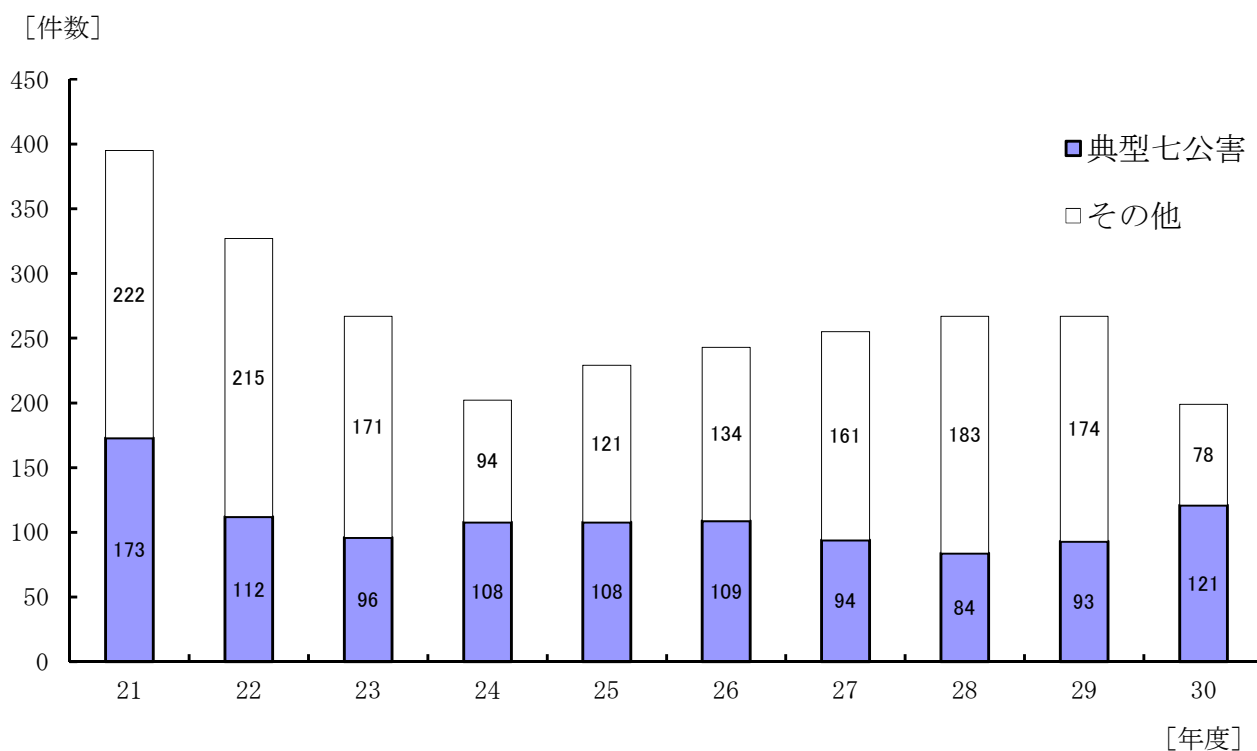
平成 30 年度に本市に寄せられた公害に関する苦情件数は 199 件で、年度別公害苦情件数の推移は下表のとおりである。

典型 7 公害の苦情件数は、前年度に比べ 28 件増加した。一方、廃棄物の不法投棄や雑草の繁茂に関するものなどの典型 7 公害以外の苦情件数は、昨年度に比べ 96 件減少した。

種別 \ 年度		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
典型七公害	大気汚染	116	70	56	61	63	50	58	41	59	53
	水質汚濁	10	13	9	13	20	14	18	11	9	31
	土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	騒音	27	14	17	18	12	21	12	18	18	22
	振動	2	2	0	2	1	0	0	1	1	1
	悪臭	18	13	14	14	12	24	6	13	6	14
計		173	112	96	108	108	109	94	84	93	121
その他		222	215	171	94	121	134	161	183	174	78
合計		395	327	267	202	229	243	255	267	267	199

(備考) 地盤沈下に関する苦情は、近年申し立てられていない。

【苦情件数の推移】

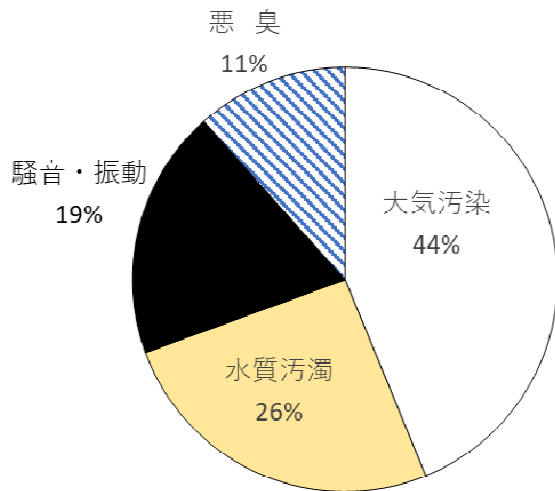


2. 苦情件数の種類別構成

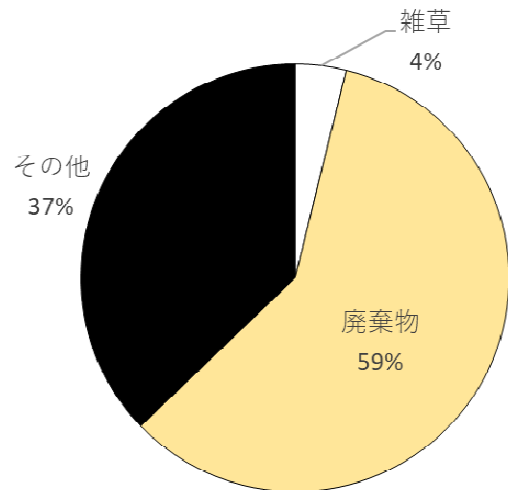
公害苦情は、典型7公害と呼ばれるものと、それ以外に大別できる。

平成30年度に寄せられた苦情のうち、典型7公害とそれ以外の内訳をそれぞれグラフに示した。典型7公害のうち44%が大気汚染に関するものであり、典型7公害以外では59%が廃棄物に関するものであった。

[典型7公害] 121件



[典型7公害以外] 78件



【苦情件数の種別構成】

発生源 種類別		農	漁	鉱	建	製	電	運	卸	サ	公	その他						合 計		
		業	業	業	設	造	気・ガス・水道業	輸・通信業	売・小売業・飲食業	ービス業	務	公	家	事	道	空	社		そ	不
		園	庭	務	路	地	社・寺院等	その他	明											
典 型 七 公 害	大気汚染	10			3	2			1				28			1		4	4	53
	水質汚濁	6				1	1		3	1			2					2	15	31
	騒音振動	1			5	5			1	2	4		4						1	23
	悪臭	1				3					4		4						2	14
	小計	18	0	0	8	11	1	1	6	9	0	0	38	0	0	1	0	6	22	121
七 公 害 以 外	雑草														2		1		3	
	廃棄物	1			7				3	1			16		1	2		12	3	46
	その他	1			1	1		1					11		2	3	1	7	1	29
	小計	2	0	0	8	1	0	1	3	1	0	0	27	0	3	7	1	20	4	78
合計		20	0	0	16	12	1	2	9	10	0	0	65	0	3	8	1	26	26	199

3. 典型7公害に係る月別受理件数

平成30年度の典型7公害の苦情件数は、平成29年度より28件増加していた。

内訳をみると、大気汚染に関する苦情の中では、一般家庭での野焼きに関する苦情が多く寄せられており、ごみの適正処理に対する意識の欠如等が主な要因と考えられる。

また水質汚濁に関する苦情では、油の漏洩・流出に関するものが多かった。

典型7公害苦情月別受理件数（平成30年度）

種類 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大気汚染	6	2	3	6	4	1	7	9	6	4	3	2	53
水質汚濁	3	6		2	5	2	2	4		2	2	3	31
騒音振動	4	2	5	1	2	1	2	1	1	1	1	2	23
悪臭	1	2		1	4		1	2		1	1	1	14
合計	14	12	8	10	15	4	12	16	7	8	7	8	121

※平成30年度は、土壌汚染及び地盤沈下に関する苦情はなかった。

[件数]

